

令和7年度 館内設置「ご意見箱」に寄せられたご意見・ご感想（4月分）

【ご意見・ご質問への回答】

（個人情報などのプライベートな内容を含むご意見については、公開は控えさせていただいています）

ご意見 イルカのショウがかっこよかった。ペンギんのところくさい。

回答 イルカショーがかっこよかったとのこと、ありがとうございます。
ペンギンは魚を食べているため、フンを陸上ですると生臭い臭いがすることがあります。こまめに清掃したり床にシャワーをしたりしていますが、完全にニオイを消すことは難しいです。ご理解ください。

ご意見 ひさびさにきてたのしかった。いるかがフラフープであそんでてかわいかった。いるかは、何さいぐらいから、おとななんですか？

回答 子どもを作ることができるくらいに成長したイルカを「大人」とすると、ハンドイルカの場合、5歳ぐらいから12歳ぐらいと言われていています。カマイルカは5歳から10歳ぐらいです。どちらもメスの方が少し早いようです。

ご意見 水辺の生きものに触れるスペースで外国のお子さんと思われる方、数名が水から生きものを出したり生きもの同士をかなり乱暴に扱ったり（大きなヤドカリにナマコやヒトデを挟ませる等）身ぶり手ぶりで注意しましたが理解されず、日本人の幼児も真似をし始めました。日本語だけの注意書きでは（写真も含め）不十分だと思います。年パスで何度も通っているので生きものたちが苦しい思いをするのは見たくないです。お忙しい中恐縮ですがご対応いただけたら幸いです。

回答 生き物のご心配をしてくださり、また他のお客様へご教示くださり、ありがとうございます。外国のお客さまも多くなっているため、外国語の表示も検討いたします。

ご意見 2年前にあった色の光をあてる物をまたてんじしてください。

回答 2年前の2023年に開催した企画展示「魚の色」での展示のことと思います。この展示では光を使った実験コーナーをいくつか作りしました。今後も、様々なテーマでの展示やプログラムを考えていきたいと思っています。

ご意見 バイカルアザラシのぬいぐるみのクオリティ素晴らしいと思います！ゴマフ推しでしたがバイカルも好きになりました。是非、同じクオリティでゴマフもつくって下さい！

回答 ご提案くださり、ありがとうございます。ゴマフアザラシのぬいぐるみ製作について、ミュージアムショップと相談し、検討いたします。

ご意見 テッポウウオのいる水槽で魚が死んでいました。せめてとむらってあげてください。ミズクラゲの水槽はつめこみすぎてぎゅうぎゅうな気がします。エチゼンクラゲはだいぶ大きくなりますが、大きくなったらどうするつもりですか？マダコはかしこいので、せっかくならそれを見せられるてんじにしたらいいと思います。ビーバーのいる水の底にはふんがたくさん落ちていました。いそがしいのは分かりますが、健康のため、掃除ががんばってほしいです。さんごの初めの水槽はさんごかえるのはすごいとおもいますが、さんごが水から出ていました。大丈夫なのですか？ペンギンのエサはアジをばらまいて、どの子がどれだけ食べたか分かるんですか？

回答

- ・死んでしまった魚は、病気になっていないかなどを調べ、今後の飼育のためにいかにようになっています。
- ・ミズクラゲは自力で泳ぐことが苦手なため、海でも潮目や湾内などに大量に集まっていることがあります。そのような感じを展示で表せたら良いと考えています。
- ・エチゼンクラゲの飼育は研究途上で、今のところ飼育下ではこのくらいの大きさが最大だと考えられています。今後の研究によってもう少し大きくできた場合は、大きな水槽へ移すことを検討します。
- ・マダコは現在は展示していませんが、今後も色々な展示手法を考えていきたいと思えます。
- ・ビーバーの水槽について、水槽の状態をこまめにチェックして対応していきたいと思えます。
- ・入口近くのサンゴ水槽は、お客様が上からも観察できるように水深を浅くしています。そのため、サンゴが成長すると水面まで達してしまいます。サンゴは基本は水中に生息していますので、水から出てしまうのは良くありません。ただし、この水槽は水位が一定ですので、水面まで達したサンゴが水面より上に成長することはありません。
- ・当館のペンギン飼育は、個体管理と全体管理と両方を行なっています。エサの食べた量については、全体管理をしています。個体ごとにタグをつけて個体識別をしており、食欲や体型を毎日の観察でチェックしています。

ご意見 小学生用の遊び場があると良いと思いました。

回答 スペースの関係上、小学生向けの遊び場を作る予定はありません。当館では普段は目にするののない生物などを展示していますので、観察したり解説を読んだりして「楽しみながら」学んでいただくと幸いです。

ご意見 イルカショーでまたイルカにさわれるようにしてほしいです。

回答 以前はイルカショーの中で、お客さまがステージに上がりイルカに触れるコーナーがありましたが、カマイルカの繁殖が順調に進んだ結果、若い個体が増え、ショー中に勝手に上陸してしまうなどの行動が見られるようになり、参加者の安全確保が難しいため、当面は再開できない見通しです。

また、イルカとのふれあいについて様々な意見がありますが、当館としては、イルカのアニマルウェルフェア（動物福祉）を最優先にして、今後ショーをどのように作っていくか考えていきたいと思えます。

ご意見 いつ来ても楽しさと知る喜びを下さりありがとうございます。産経新聞（甲信越版）の飼育員日誌、カラー写真や追記等含め、書籍化をして欲しいです。デジタルもエコが良いですが写真集のように、限られた画面で見るとしかないモバイル系では味わうことの無いパワーあふれる1コマが載っているようなもの。学校図書でも重宝しそうですし、是非、お願いします。これからも様々な企画、楽しみにしています!!

回答 産経新聞の飼育員日誌は、2020年4月に連載を開始し、100回を超える記事が掲載されました。連載当初より書籍化を考えており、出版に向けての動きがありましたら当館公式 Web サイト等でお知らせいたしますので、ご注目ください。

ご意見 いろいろかがみたいです。

回答 イロワケイルカのことでしょうか。イロワケイルカは日本では仙台うみの杜水族館と鳥羽水族館のみで飼育されています。生息地は南アメリカの南端で、保護されていますので生息地から入手することはできません。このような理由からイロワケイルカを展示することは難しいと考えています。

ご意見 とても良い施設で楽しかったのですが、1つ。ペンギンの展示エリア内にカラスが入り込んでいて、魚を盗み取ったり、巣箱の中に入ったりしていました。ペンギンは大丈夫なのでしょうか。プールに飛び込んだり水を飲んだりもしていました。カラスのフンや寄生虫で病気になったりしないでしょうか。解説の時にフンボルトペンギンは絶滅危惧種だと説明されていました。事故のないように配慮をお願いします。

回答 ペンギン展示エリアに侵入するカラスについて、ご心配くださりありがとうございます。私たちとしても、カラスの侵入について問題だと考えていましたので、ペンギン展示エリア全体に防鳥ネットを張りました。ネット越しの観察となり、若干見えにくいことがあります。ご容赦をお願いします。

ご意見 いるか、さわりたいです。きかんをおねがいします。

回答 以前はイルカショーの中で、お客さまがステージに上がりイルカに触れるコーナーがありましたが、カマイルカの繁殖が順調に進んだ結果、若い個体が増え、ショー中に勝手に上陸してしまうなどの行動が見られるようになり、参加者の安全確保が難しいため、当面は再開できない見通しです。

また、イルカとのふれあいについて様々な意見がありますが、当館としては、イルカのアニマルウェルフェア（動物福祉）を最優先にして、今後ショーをどのように作っていくか考えていきたいと思えます。

ご意見 いるかしょうのいるかのじゃんぷがすごかったです。いりぐちのちかくのすいそうのすなは、なんでぼこぼこしてるのかしりたいです。まりんぴあのさかなは、なんでかわいいのかしりたいです。またまりんぴあにきます。

回答 入口近くの砂がぼこぼこしている水槽は、おそらくトビハゼなどがある干潟（ひがた）の水槽だと思います。自然の干潟には水がわき出ているところがあります。この水槽では干潟で水がわき出ている様子がイメージできるように水をぼこぼこさせています。

ご意見 ペンギンの所を室内にしてほしい。

回答 フンボルトペンギンは日本と同じような気候のペルーやチリの海岸に生息しているため、当館では屋外で飼育をしています。また、他の動物園や水族館でも屋外の方が多いようです。

室内のメリットとして、お客様にとっては暑さや寒さにさらされない、ペンギンにとっては鳥インフルエンザをはじめとした病気のリスクが少ないといったことがあります。当館では自然の光や風が当たる屋外飼育としています。